横浜市記者発表資料



令和2年度 道路局 予算概要について

令和2年度 道路局予算概要は、次のとおりです。

道路局主要事業

○ 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備 [P3]

「都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ」として、横浜環状道路の早期整備の実現、都市計画道路等の整備の着実な推進、連続立体交差事業や渋滞対策などを積極的に進めていきます。

○ 市民生活の安全・安心の確保 [P12]

「市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ」として、河川改修事業や無電柱化推進事業等、ハード・ソフトの両面から、防災・減災対策を着実に進めていきます。また、急増する老朽化施設の計画的な保全・更新や、未就学児の移動経路などの緊急点検に基づく安全対策、生活道路や通学路における安全対策などに取り組んでいきます。

○ 魅力あるまち・みちづくり [P29]

「魅力や利便性を向上し、愛されるまちへ」として、多様なニーズに応える道路空間の再構築や、自転車活用の推進、地域交通への支援など、まちの利便性向上に取り組むとともに、健康みちづくりや河川環境の整備など、まちの魅力を高めていきます。

	お問合	うせ先		
道路局	総務課長 中坪	学一	Tel 045-671-2742	

道路局 お問合せ先一覧

事業名	担当		電話
黄浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備			
広域的な道路ネットワークの形成	It was live and a second	I	
	横浜環状道路調整課長	岡靖之	671-3
	横浜環状北西線建設課長	谷津 毅	671-2
 市内道路ネットワークの充実	横浜環状道路調整課横浜環状道路調整担当課長(南線)	木村 修平	671-2
(1)都市計画道路等の整備	事業推進課長	桐山 大介	671-2
(1) 即川川 回追店寺の売帰	企画課長	樹岡 龍太郎	671-2
	建設課長	角野 智史	671-2
(2)国道の整備	事業推進課長	桐山 大介	671-2
(2) 自追び走禰	争未推進試技 建設課長		-
(2) 海结六件六关事業	建設課鉄道交差調整担当課長	角野 智史 栗本 高史	671-2 671-2
(4)道路改良	維持課長	落合 潔	671-2
(4) 垣町以及 米軍施設返還跡地関連道路等の検討	柜 付 床 文	冷口 係	071-2
(1)旧上瀬谷通信施設地区関連事業化検討	企画課上瀬谷担当課長	岡 哲郎	671-4
(2)深谷通信所跡地利用関連道路計画検討	企画課長	樹岡 龍太郎	671-2
市民生活の安全・安心の確保	正四床及	河川 形入川	071 2
防災・減災対策			
(1)地震対策(橋梁·歩道橋)	橋梁課長	本橋 康武	671-2
	施設課長	安達 秀昭	671-3
(2)無電柱化推進事業	企画課長	樹岡 龍太郎	671-2
(-) //// (-) /// (-)	施設課長	安達 秀昭	671-3
	建設課担当課長	故島 哲朗	671-2
(3)河川整備	河川事業課長	秋本 圭一	671-2
(4)水防事業	河川企画課長	樽川 正弘	671-2
(5) 道路がけ防災対策事業	施設課長	安達 秀昭	671-2
計画的な保全・更新・維持管理	が成立を	女庄 乃吅	0/1
(1)施設の老朽化対策	橋梁課長	本橋 康武	671-2
CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR O	施設課長	安達 秀昭	671-3
	河川企画課長	樽川 正弘	671-2
	河川事業課長	秋本 圭一	671-3
(2)市営自動車駐車場の管理運営	施設課バリアフリー対策等担当課長	松本英之	671-3
(3)道路修繕	維持課長	落合 潔	671-2
(4)街路樹・植樹帯の管理	施設課長	安達 秀昭	671-3
(5) 道路施設の管理	施設課長	安達 秀昭	671-
(6) 是明旭战07日生	管理課長	中山昭	671-2
	道路調査課長	内田 昭博	671-2
(6)河川水路等施設の管理	河川企画課長	樽川 正弘	671-2
(〇)内川水路寺池改め日生	河川管理課長	時尾 嘉弘	671-2
(7)財源確保の取組			_
(7)別が唯体の対象性	企画課長 建設課長	樹岡 龍太郎 角野 智史	671-2
I 誰もが安全・安心に利用できる道路空間	建 取除及	万式 日久	071 2
(1)通学路安全対策事業	施設課長	安達 秀昭	671-3
	交通安全・自転車政策課長	酒井 博之	671-2
(2) 踏切の安全対策			
(3)連続立体交差事業	── 建設課鉄道交差調整担当課長	栗本 高史	671-2
(4)交通安全施設の補修	施設課長	安達 秀昭	671-3
	施設課バリアフリー対策等担当課長	松本 英之	671-3
(5)私道対策	維持課長	落合 潔	671-2
	路政課長	岡本 栄里	671-2
(6)交通安全教育·啓発事業	交通安全・自転車政策課長	酒井 博之	671-2
速力あるまち・みちづくり	Company of the Company of Company of Company	1.27 N.C	
まちの利便性向上			
(1)歩行空間の改善・拡充	企画課交通計画担当課長	馬場 明希	671-2
	施設課バリアフリー対策等担当課長	松本 英之	671-3
	企画課長	樹岡 龍太郎	671-
	建設課長	角野 智史	671-2
	事業推進課長	桐山 大介	671-
	橋梁課長	本橋 康武	671-2
(2)交通結節点の整備	施設課バリアフリー対策等担当課長	松本 英之	671-
(3)自転車活用施策の推進	交通安全•自転車政策課長	酒井 博之	671-2
	施設課バリアフリー対策等担当課長	松本 英之	671-3
	企画課長	樹岡 龍太郎	671-2
地域交通の確保に向けた取組			
(1)地域交通サポート事業			
(2)生活交通バス路線の維持支援	企画課交通計画担当課長	馬場 明希	671-2
(3)バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業			
まちの魅力創出			
(1)健康みちづくり推進事業	企画課交通計画担当課長	馬場 明希	671-
(2)河川環境の整備	河川企画課長	樽川 正弘	671-
	河川事業課長	秋本 圭一	671-
(3)市民協働による美化活動の推進	管理課長	中山 昭	671-
	河川企画課長	樽川 正弘	671-
2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組			
(1)道路標識の改善	施設課バリアフリー対策等担当課長	松本 英之	671-
(2)競技場周辺の安全対策費	施設課長	安達 秀昭	671-
(3)その他	交通安全·自転車政策課長	酒井 博之	671-
•			+

令和2年度

予 算 概 要

道路局

目 次

	ページ
◇令和2年度 道路局予算案について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
◇主な事業・取組	
I 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備・・	3
~都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ!~	
1 広域的な道路ネットワークの形成	
2 市内道路ネットワークの充実	
3 米軍施設返還跡地関連道路等の検討	
Ⅱ 市民生活の安全・安心の確保・・・・・・・・・・・	12
~市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ!~	
1 防災・減災対策	
2 計画的な保全・更新・維持管理	
3 誰もが安全・安心に利用できる道路空間	
Ⅲ 魅力あるまち・みちづくり・・・・・・・・・・・	29
~魅力や利便性を向上し、愛されるまちへ!~	
1 まちの利便性向上	
2 地域交通の確保に向けた取組	
3 まちの魅力創出	
◇東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組 ・・	34
◇令和2年度 道路局予算案 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
◇債務負担行為 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
◇損失補償 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
令和2年度 道路局予算の編	
道路局では、交通安全施設等整備費など一部の事業を令和記 に編成しています。	元年度2月補正予算と一体的
/-^	
◆ 令和2年度当初予算と令和元年度2月補正予算を一体的に約 ************************************	
XX億XXXX万円 〈XX億XXXX万円〉 令和2年度当初予算 2月補正予算を含めた予算	(XX億XXXX万円) 令和元年度当初予算
17日と十反コルナ	기타기마구(오크)(VI) #
	 牧定や減額などの補正分は
XX億XXXX万円 (XX億XXXX万円) 含みませ	-
令和2年度当初予算 令和元年度当初予算 ※ 1万円を	k満は四捨五入しています。

◆ 再掲した事業については本文中に【一部再掲】又は【再掲】と表記しています。

<コラム一覧>

コラム①	横浜北西線の整備効果について	4頁
コラム②	首都高 横浜港北出入口の新設、および関連街路川向線 (川向地区)の開通について	5頁
コラム③	圏央道の整備状況と横浜環状南線・横浜湘南道路について	6頁
コラム④	開通に向けた都市計画道路の整備	7頁
コラム⑤	渋滞対策について	10頁
コラム⑥	無電柱化の推進に向けた取組	13頁
コラム⑦	激甚化する水害をふまえた日野川における河川整備	15頁
コラム®	水難事故防止のための普及啓発活動	18頁
コラム⑨	災害への対応と備え	19頁
コラム⑩	橋梁の1巡目法定点検の実施結果と今後の対策	20頁
コラム⑪	地下駐車場管理運営への指定管理者制度の導入と 見込まれる効果	21頁
コラム⑫	河道等安全確保対策事業 ~河川・水路等の維持管理の強化~	24頁
コラム⑬	歩道橋ネーミングライツ事業の拡大	25頁
コラム⑭	未就学児の移動経路等の緊急点検について	27頁
コラム⑮	ビッグデータを活用した交通安全対策	27頁
コラム16	さくらみらい橋の名称について	29頁
コラム⑰	戸塚区南西部における取組	31頁
コラム18	ボランティア団体の活動について	33頁

令和2年度 道路局予算案について

1 基本目標

「チーム道路」の総力を結集させ、市民生活や横浜経済を支える強靭な都市基盤の構築や計画 的な老朽化対策の実施、防災機能の強化など、安全・安心で愛される道路・河川空間づくり、 災害に強いまちづくりを実現します。

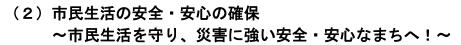
2 取組の重点

(1)横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備 ~都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ!~

横浜環状道路の早期整備を実現することで、高速道路ネットワークを充実させ、横浜港の国際競争力の強化をはじめとする広域的なアクセス性の強化、災害時の代替道路の確保、幹線道路における渋滞の緩和などを図ります。

生産性の向上や市民生活における利便性・安全性向上、市域の一体化を図るため、都市計画道路等の整備を進めるとともに、ボトルネックとなっている交差点の渋滞対策、「開かずの踏切」の解消に向けた連続立体交差事業等に積極的にも取り組みます。

また、米軍施設返還跡地の利用など、まちづくりにあわせた新たな交通や道路の効果的な整備を進めます。



激甚化する自然災害や切迫する巨大地震による被害を最小限に抑えるため、河川改修事業や水防事業、無電柱化推進事業等、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を着実に進めます。

老朽化する施設が加速的に増加する中で、橋梁や歩道橋、河川 施設等について、点検結果を踏まえた計画的な保全・更新により、 効率的かつ効果的な維持管理を行い、将来にわたる安全性の確保 を図ります。

未就学児の移動経路等の緊急点検に基づく安全対策など、生活 道路や通学路における安全対策を進めることで、子どもや高齢者 など誰もが安全・安心に利用できる道路空間を実現します。

(3)魅力あるまち・みちづくり ~魅力や利便性を向上し、愛されるまちへ!~

多様なニーズに応える道路空間の再構築や自転車活用の推進と ともに、地域交通への支援やバス路線の維持・充実に向けた取組 など、まちの利便性の向上に取り組みます。

健康増進や外出意欲の向上に向けた健康みちづくりや、生物多様性に配慮した河川環境等により、まちの魅力を高めていきます。「ハマロード・サポーター」や「水辺愛護会」の美化活動支援など、市民・事業者・学校などとの協働による取組を進めます。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、横浜

スタジアム周辺道路の標識や歩道等について改善を図ります。



3/22開通予定の横浜北西線(横浜青葉JCT



整備中の横浜環状南線(柏尾川・JR付近)



河川改修による護岸整備(和泉川)



橋脚の補修(烏帽子田橋)



バス路線の維持・充実(連接バスの導入等)



道路標識の改善(横浜国際総合競技場)

3 予算総括表

<一般会計>

令和2年度の一般会計は、横浜北西線の事業進捗に伴う事業費の減により、当初予算と令和元年度2月補正予算の一部を含めた予算額は、874億3961万円、対前年度比38億448万円、4.2%の減となっています。 (単位:千円)

1.2 /0 10 /0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 7 0					(- 1-2.111/
	令和2年度	令和元年度 2月補正予算	令和元年度 2月補正予算の一	令和元年度		
科 目	当初予算額	の一部	部を含めた額	当初予算額	増▲減額	増▲減率
	(A)	(B)	(A)+(B)=(C)	(D)	(C)-(D)	
歳 出	83,735,244	<u>3,704,363</u>	87,439,607	91,244,090	<u>▲ 3,804,483</u>	<u>▲4.2%</u>
12款 道路費	82,793,943	3,704,363	86,498,306	90,336,751	▲ 3,838,445	▲ 4.2%
1項 道路維持管理費	24,608,617	0	24,608,617	24,407,902	200,715	0.8%
2項 道路整備費	54,337,663	2,486,363	56,824,026	62,000,065	▲ 5,176,039	▲8.3%
3項 河川費	3,847,663	1,218,000	5,065,663	3,928,784	1,136,879	28.9%
17款 諸支出金	941,301	0	941,301	907,339	33,962	3.7%
財源内訳	83,735,244	3,704,363	87,439,607	91,244,090	▲ 3,804,483	▲ 4.2%
特定財源	55,557,353	3,698,004	59,255,357	59,860,725	▲ 605,368	▲ 1.0%
国庫支出金	16,834,426	1,723,004	18,557,430	16,888,246	1,669,184	9.9%
県支出金	765,638	383,000	1,148,638	714,078	434,560	60.9%
使用料及び手数料	9,386,360	0	9,386,360	9,395,253	▲ 8,893	▲0.1%
諸収入等	1,814,929	15,000	1,829,929	2,297,148	▲ 467,219	▲20.3%
市債	26,756,000	1,577,000	28,333,000	30,566,000	▲ 2,233,000	▲ 7.3%
一般財源	28,177,891	6,359	28,184,250	31,383,365	▲ 3,199,115	▲ 10.2%

<自動車駐車場事業費会計>

令和2年度の自動車駐車場事業費会計は、指定管理者による管理、運営を開始することに伴い、歳出の運営費、歳入の使用料の取扱いが変更となるため、予算額は、4億8750万円、対前年度比4億3022万円、46.9%の減となっています。 (単位:千円)

令和2年度 当初予算額 (A)	令和元年度 当初予算額 (B)	増▲減額 (A)-(B)	増▲減率
487,496	<u>917,712</u>	▲ 430,216	<u>▲46.9%</u>
487,496	917,712	4 30,216	▲ 46.9%
153,705	570,466	4 16,761	▲ 73.1%
328,791	346,246	▲ 17,455	▲ 5.0%
5,000	1,000	4,000	400.0%
	当初予算額 (A) 487,496 487,496 153,705 328,791	当初予算額 (A) 当初予算額 (B) 487,496 917,712 487,496 917,712 153,705 570,466 328,791 346,246	当初予算額 当初予算額 (A)—(B) 487,496 917,712 ▲ 430,216 487,496 917,712 ▲ 430,216 153,705 570,466 ▲ 416,761 328,791 346,246 ▲ 17,455

財	源内訳	487,496	917,712	▲ 430,216	▲ 46.9%
	特定財源	124,985	571,466	4 46,481	▲ 78.1%
	国庫支出金	0	20,000	▲ 20,000	▲100.0%
	使用料及び手数料	0	401,896	▲ 401,896	▲ 100.0%
	諸収入等	124,985	149,570	▲ 24,585	▲ 16.4%
	一般会計繰入金	362,511	346,246	16,265	4.7%

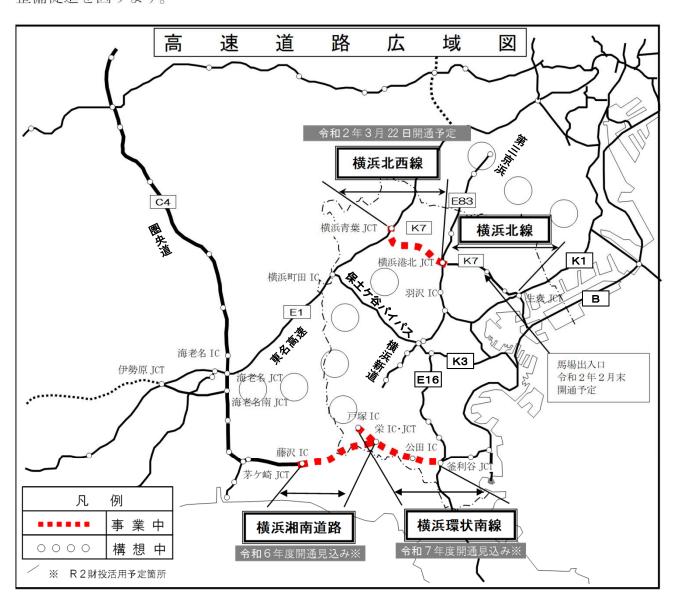
主な事業・取組

I 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備 ~都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ!~

1 広域的な道路ネットワークの形成

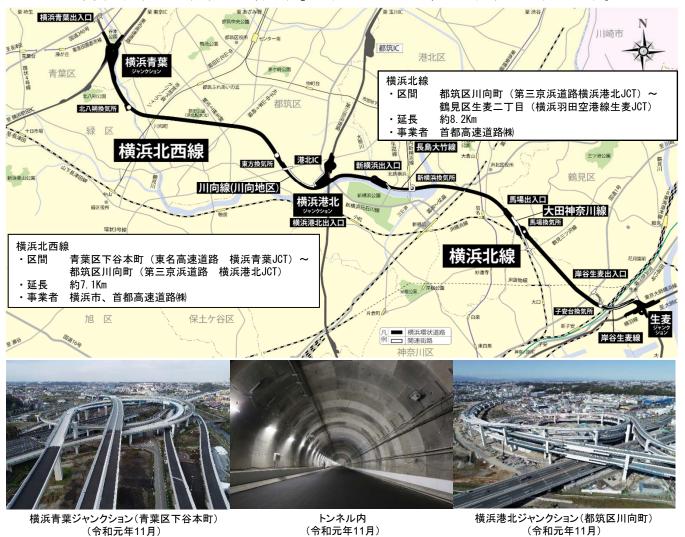
横浜環状道路等の整備 256億4216万円 < 259億216万円 > (331億5110万円) 令和2年3月22日に開通する横浜北西線において、立替施行の実施に伴う支払いを 行います。

また、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の一部を構成する南線及び横浜湘南道路の整備促進を図ります。



ア 横浜北西線 123億3550万円 (163億1017万円)

事業費負担の平準化のため、首都高速道路(株)が事業費の一部を立て替え、令和2年度から6年度に支払いを行う「立替施行」を実施しており、その支払いを行います。



コラム(1) 横浜北西線の整備効果について

横浜北西線が開通し、横浜北線と一体となることで、横浜港から東名高速までが直結され、横浜市北西部と横浜都心・湾岸エリアとの連絡強化が図られます。これにより、国際競争力の強化、災害時等の道路ネットワークの信頼性向上、アクセス性の向上、物流効率化、保土ヶ谷バイパス等の交通渋滞の改善・沿線地域の生活環境の改善などの整備効果が見込まれます。

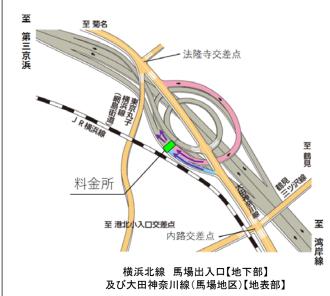


イ 横浜北線 7億2500万円 < 9億2500万円 > (41億9150万円)

馬場出入口は、令和2年2月末に2か所の出口及び法隆寺交差点側の入口が開通し、 第三京浜及び湾岸線方面の利用が可能となります。

令和2年度は、内路交差点側の入口の整備と大田神奈川線(馬場地区)の往復4車線への拡幅整備を進め、年内に完成する予定です。

馬場出入口及び大田神奈川線(馬場地区)



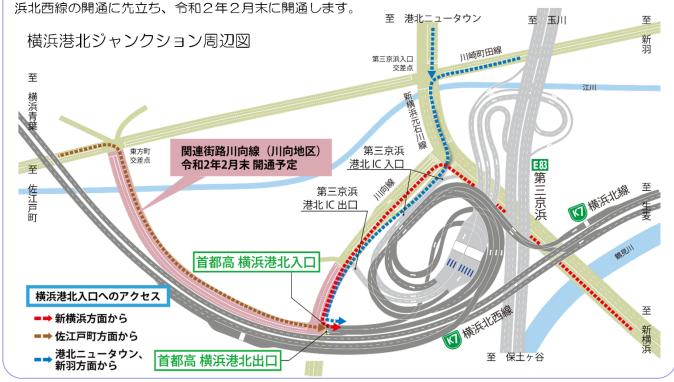


工事実施状況(令和元年12月)

コラム② 横浜港北出入口の新設、および関連街路川向線(川向地区)の開通

横浜港北ジャンクションには、第三京浜の出入口となる港北IC(インターチェンジ)とは別に、横浜北西線・横浜北線に乗り降りできる「横浜港北出入口」を横浜北西線の開通に合わせて新設します。

また、横浜港北出入口と川崎町田線および新横浜元石川線を接続する関連街路川向線(川向地区)が、横浜北西線の関係に生立ち、今和2年2日末に関係します。



ウ 横浜環状南線・横浜湘南道路 125億8166万円 < 126億4166万円 > (126億4944万円) 国土交通省及び東日本高速道路株式会社と連携し、事業推進に取り組みます。

(横浜環状南線:令和7年度開通見込み、横浜湘南道路:令和6年度開通見込み) また、南線・横浜湘南道路に乗り降りするインターチェンジに接続する関連街路(上郷公田線、田谷線、横浜藤沢線、環状3号線)の整備を進めます。



栄IC·JCT橋梁工事(栄区田谷町) 令和元年12月

公田IC築造工事(栄区公田町) 令和元年12月

桂台トンネル工事(栄区上郷町) 令和元年12月

コラム③ 圏央道の整備状況と横浜環状南線・横浜湘南道路について



圏央道は、都心から半径約40~60km、延長約300kmの高規格幹線道路で、全線の約9割が開通しています。

本道路の順次開通等により、都心から圏央 道へ交通が転換しており、首都圏の物流が大 幅に改善するとともに、大型物流施設等の民 間投資も誘発しています。

圏央道の西側区間で、唯一の未開通区間で ある横浜環状南線と横浜湘南道路についても、 早期開通に向けて、事業を推進します。

横浜環状南線(令和7年度開通見込み※)、横浜湘南道路(令和6年度開通見込み※)

※ R2財投活用予定箇所

図面:「よこかんみなみHP」(東日本高速道路株式会社)資料を加工し作成

2 市内道路ネットワークの充実

- (1)都市計画道路等の整備【一部再掲】 54億2284万円 < 66億6434万円 > (77億5336万円) 市域の一体性を高めながら都市機能の強化を図るため、都市計画道路等の整備を進めます。
 - · 鴨居上飯田線 【本宿二俣川地区】 (旭区)
 - ・金沢シーサイドライン(金沢区)令和2年度 金沢八景駅の複線化
 - · 宮内新横浜線 【新吉田地区】(港北区) 令和2年度 供用予定
 - 東京丸子横浜線【綱島地区】(港北区)
 - 環状3号線 【戸塚地区、南戸塚地区、汲沢地区】(戸塚区)
 - · 桂町戸塚遠藤線【上倉田戸塚地区】(戸塚区)
 - ・中田さちが丘線【岡津地区】(泉区)令和2年度 供用予定

など47箇所

また、事業の具体化に向けた、検討を進めます。

- · 恩田元石川線【元石川地区、鉄地区】(青葉区)
- ・環状3号線 【中田地区】 (泉区)
- (2) 国道の整備 11億5550万円 (10億8957万円)

本市の道路ネットワークの骨格を担う国道の改良を進めます。

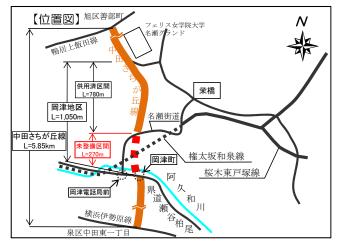
- ・国道1号【保土ケ谷橋工区】(保土ケ谷区)
- ·国道1号【不動坂交差点】(戸塚区)
- ・国直轄事業(国道16号、国道357号電線共同溝など)

コラム④ 開通に向けた都市計画道路の整備

中田さちが丘線(岡津地区) <延長L=1,050m 幅員=22m>

中田さちが丘線は、権太坂和泉線や横浜伊勢原線などの複数の都市計画道路と接続し、泉区、戸塚区、 旭区の連絡を強化する重要な路線です。このうち岡津地区の未整備区間を令和2年度末までに整備する ことで、中田さちが丘線全線5.85kmが開通します。

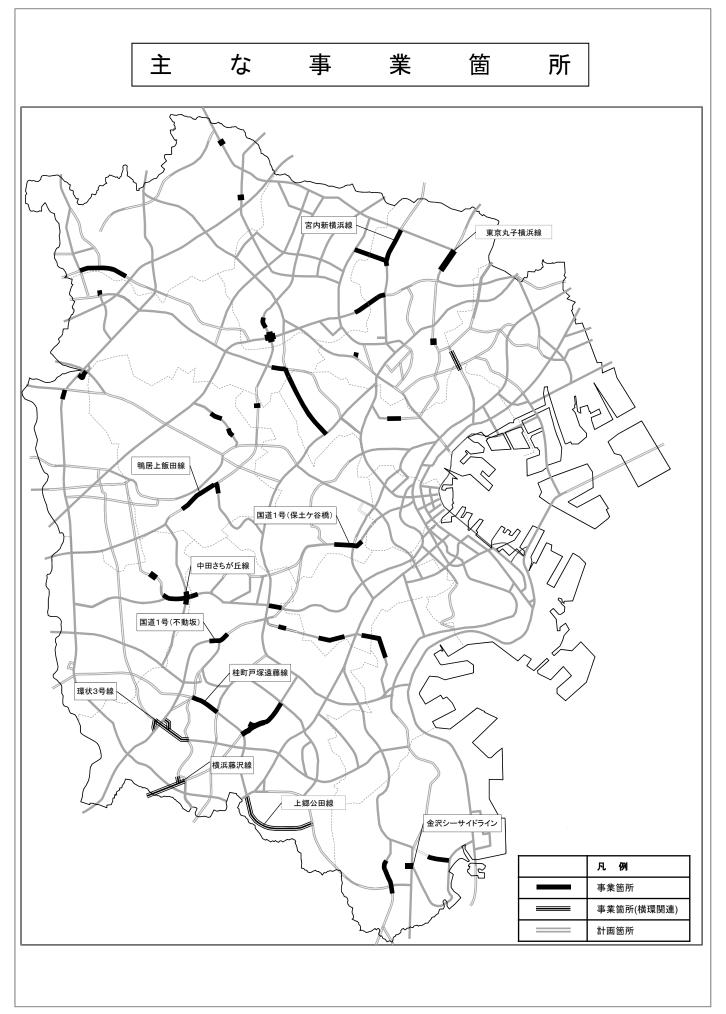
これによりネットワーク機能が強化され、交通利便性の向上や周辺道路の渋滞解消等の事業効果が期待されます。



位置図



完成予想図(未整備区間:270m)



- (3)連続立体交差事業 25億2900万円 (14億7840万円) 都市内交通の円滑化や都市の活性化を図るため、連続立体交差事業を進めます。
 - ア 相模鉄道本線(星川駅〜天王町駅)連続立体交差事業(保土ケ谷区) 20億2900万円(13億7040万円)

星川駅、天王町駅の駅舎工事を進め、すべてのエレベーター、エスカレーターが 完成するとともに、星川駅1階の自由通路を供用開始します。

また、周辺の道路整備を進めます。

【実施区間:星川駅~天王町駅 約1.9km】

【踏切除却数:9箇所】



事業着手時(平成14年頃)(星川2号踏切)



全線高架化後(星川2号踏切)

イ 相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業(旭区)

5億円 (1億800万円)

引き続き、国との協議や都市計画、環境影響評価等の手続を進め、令和4年度の 事業認可取得を目指します。

【事業区間:西谷駅~二俣川駅 約2.8km】

【踏切除却数:10箇所】



踏切(通学路)遮断状況(鶴ヶ峰5号踏切)



踏切遮断による周辺道路渋滞状況(鶴ヶ峰駅前の水道道)

(4) 道路改良 [-部再揭] **18**億**9067**万円 < **18**億**9567**万円 > (22億4685万円)

市民生活やバス交通の利便性の向上を図るため、歩道設置や交差点改良によるボトルネックの解消等、市民生活に密着した道路改良事業を進めます。

- ・市道市場第42号線【元宮二丁目地区】(鶴見区)
- ・市道平戸第486号線【別所地区】(南区)
- ・市道谷津第232号線(金沢区)
- 主要地方道横浜生田【柚の木交差点】(都筑区)
- 県道大船停車場矢部(戸塚区)
- ・県道瀬谷柏尾【本郷その2地区】(瀬谷区) など65箇所



整備前: 県道大船停車場矢部(戸塚区)



整備中:市道平戸第486号線【別所地区】(南区)

コラム⑤ 渋滞対策について

国や市などを中心に構成する「神奈川県移動性向上委員会」では、自動車から得られる走行データを用いて、市内の主要渋滞箇所(137箇所)を選定しています。このうち本市が管理する道路は97箇所になり、泉区にある県道阿久和鎌倉の萩丸交差点では、渋滞を緩和するため、交差点付近を拡幅し、右折レーンを新設するなどの改良を実施しています。



路線名【地区名】	県道阿久和鎌倉【萩丸交差点】
区 間 泉区中田西一丁目から中田西三丁目	
計画延長·幅員	380m、11∼14m
内 容	道路拡幅、交差点改良



整備前 (渋滞状況)

交差点付近を拡幅し、右折レーンの 新設等に取り組んでいます。 歩道

本折

整備状況(右折レーン新設、歩道設置等)

3 米軍施設返還跡地関連道路等の検討

(1) 旧上瀬谷通信施設地区関連事業化検討

旧上瀬谷通信施設における大規模な 土地利用転換に伴い、発生が想定される 交通需要に対応し、本市郊外部の新たな 活性化拠点の形成に資する、瀬谷駅を 起点とした新たな交通(中量軌道等 (※1))の導入に向けて、設計等を

進めます。 また、東名高速道路や保土ケ谷バイ パスなどの広域的な幹線道路から流入が 想定される交通量の増加に対応するため、 八王子街道など、都市計画道路等の整備 による道路ネットワークの強化に向けて、

※1 中量軌道等

設計等を行います。

LRT、新交通システム、モノレール等

10億1900万円 (新規)



新たな交通のルートイメージと周辺の道路網

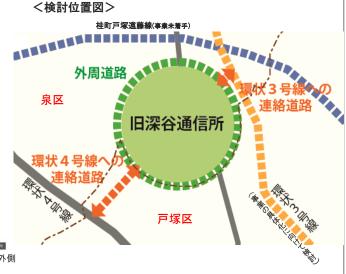
(2) 深谷通信所跡地利用関連道路計画検討

深谷通信所跡地(平成26年6月返還)に おいて、跡地利用計画を踏まえ、健康みち づくりにも寄与する外周道路及び環状3号線 ・4号線との連絡道路について、都市計画 決定に向けて、関係部署と連携し、検討を 進めます。

<外周道路イメージ>



2000万円 (2000万円)



II 市民生活の安全・安心の確保 ~市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ!~

1 防災・減災対策

- (1) 地震対策(橋梁・歩道橋) **4**億**1500**万円(4億1117万円)
 - ア 橋梁の地震対策 2億6800万円 (3億円)

これまで、緊急輸送路などにある「重要橋梁」から倒壊や甚大な被害を防止する地震対策を優先的に進め、概ね完了の見通しがつきました。

引き続き、重要橋梁以外の「一般橋梁」の地震対策を進めると共に、新たに対策が必要となった、熊本地震時に被害が生じた構造と同様の形式を持つ橋梁の地震対策を進めます。

- 常盤橋(神奈川区)
- 黄金橋(中区)
- ・星和橋 (保土ケ谷区)
- ・新横浜陸橋 (港北区) など10橋



コンクリート橋脚の補強が完了: 樽綱橋(港北区)

イ 歩道橋の地震対策 1億4700万円(1億1117万円)

引き続き、緊急輸送路上の歩道橋から優先して、地震対策を進めます。

- ・落橋防止装置の設置
 寛政町歩道橋(鶴見区)
 下末吉歩道橋(鶴見区)
 今井インターチェンジ歩道橋(保土ケ谷区)
 六浦歩道橋(金沢区)
- ・設計 通町歩道橋(南区)など5橋



落橋防止装置:鶴見神社前歩道橋(鶴見区)

(2)無電柱化推進事業 9億7400万円<10億8900万円>(9億7400万円)

災害時の救急活動や応急復旧を速やかに展開できるよう、第1次緊急輸送路等、特に、 無電柱化路線の環状形成に資する3路線(環状2号線、山下本牧磯子線、鶴見溝ノ口線) や災害時に拠点として機能する区役所等へのアクセス路について、無電柱化を推進します。

また、良好な都市景観形成や観光振興のため、関内地区や横浜駅周辺等で整備する路線や時期を定めた実施計画の検討を進めるほか、民間活力の導入として、PFI手法の検討に取り組みます。

ア 緊急輸送路

- ・環状2号線 (鶴見区、神奈川区、港南区、保土ケ谷区、磯子区、港北区)
- •山下本牧磯子線 (中区、磯子区) 原町地区 令和2年度 完成予定
- ・鶴見溝ノ口線 (鶴見区)
- ・横浜鎌倉線 (南区、港南区、栄区)
- ・丸子中山茅ケ崎線(旭区)
- ・横浜上麻生線 (青葉区) など9路線

イ 区役所等へのアクセス路

· 南区、港南区、金沢区、緑区、青葉区、戸塚区、栄区

無電柱化の状況(横浜伊勢原線【和泉地区】 令和元年度完成)



整備前



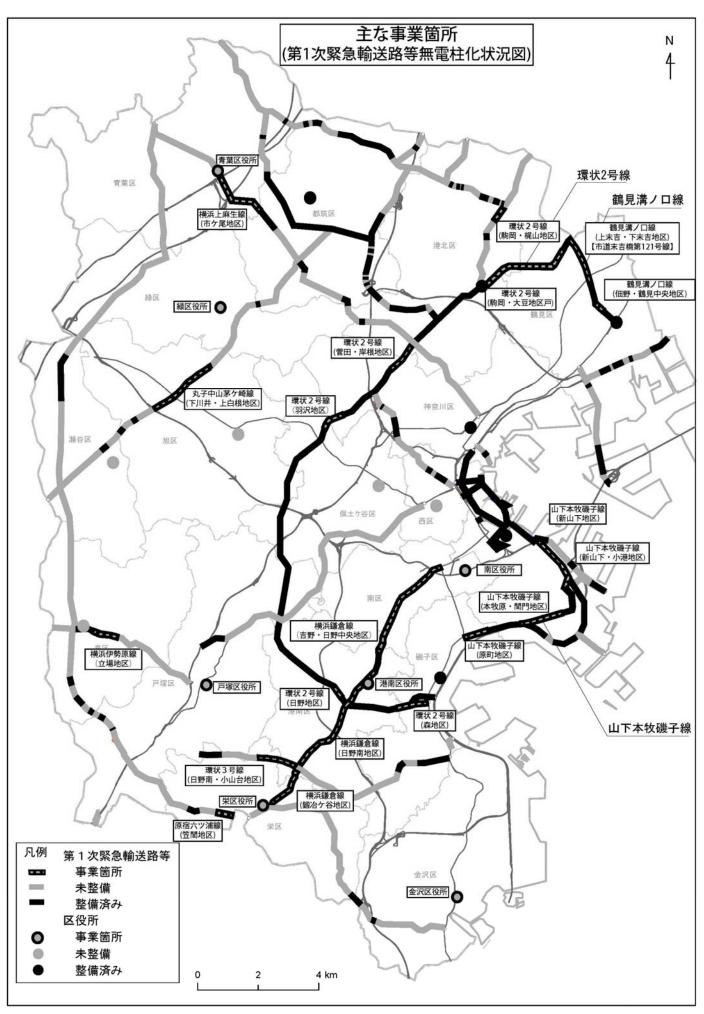
整備後

コラム⑥ 無電柱化の推進に向けた取組

- 「横浜市無電柱化推進計画」の策定(平成30年12月) 無電柱化の推進に関する法律第8条に基づき、基本方針、期間、 無電柱化の推進に向けた施策等を定めた「横浜市無電柱化推進計画」 を策定し、無電柱化を推進しています。
- 「道路法施行規則第4条の4の2の改正」(平成31年4月施行) 道路整備や市街地開発事業等において、電線の占用を認めない (地下埋設等の困難性に該当するものを除く)ことになりました。
- 「無電柱化の日(令和元年11月10日)」の啓発について 土木事務所(港南区、青葉区)のイベントにおいて無電柱化の 広報PRを実施しました。



台風15号(令和元年9月)による電柱の倒壊 写真提供 国土交通省



(3) 河川整備 22億3723万円 < 34億5523万円 > (22億2578万円)

治水安全度の向上を図るため、河川改修や流域貯留施設の整備などによる総合的な治水 対策を推進します。

ア 都市基盤河川改修事業 20億1148万円 < 31億6048万円 > (20億1158万円)

今井川 護岸改修、支障移設、用地補償(保土ケ谷区権太坂一丁目、岩井町)

学校橋架替え、護岸改修、用地補償(旭区上川井町、川井本町) ・帷子川

・阿久和川 橋際橋架替え、用地補償(泉区新橋町、瀬谷区阿久和南3丁目)

護岸改修、管理用通路整備(泉区和泉町) •和泉川



護岸改修 今井川: 保土ケ谷区岩井町



橋際橋架替え 阿久和川:泉区新橋町

- イ 準用河川改修事業 1億9800万円 < 2億6700万円 > (1億9700万円)
 - ・日野川 護岸改修、管理用通路整備、支障移設(港南区日野七丁目)
 - 護岸改修(戸塚区舞岡町) など3河川 • 舞岡川
- ウ 流域貯留浸透事業 2775万円(1720万円)
 - ・本郷台第一雨水調整池 既設雨水調整池改良(栄区本郷台五丁目)など

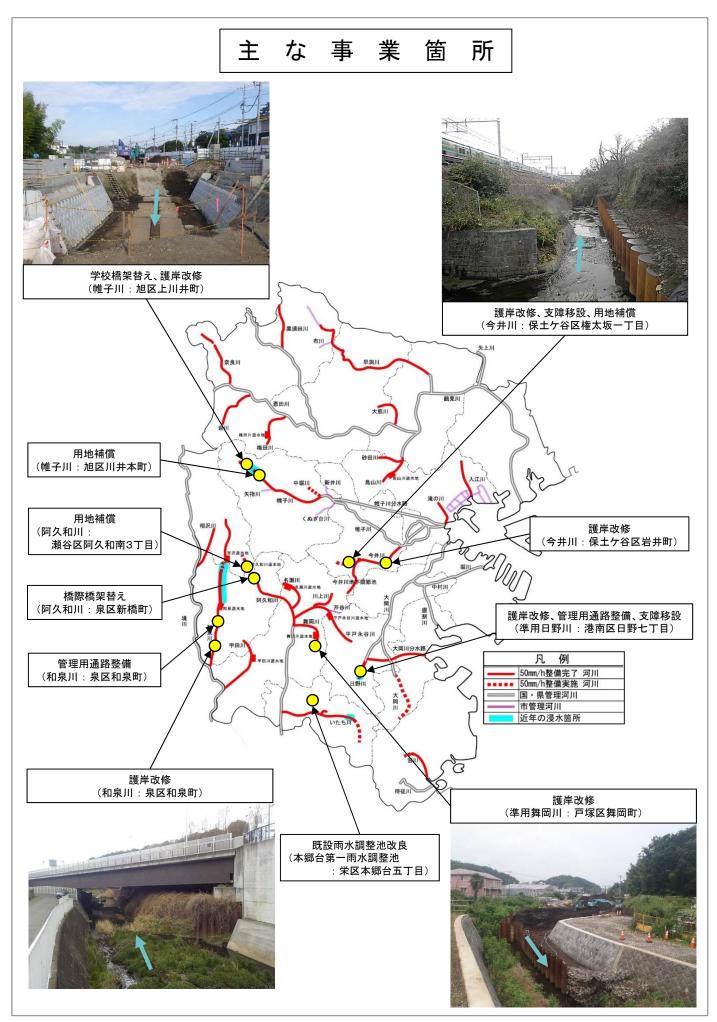
コラム⑦ 激甚化する水害をふまえた日野川における河川整備

港南区を流れる準用河川日野川では、令和元年9月の集中豪雨により、護岸の整備されていない箇所で、 45戸の床上・床下浸水の被害が発生しました。

下流から河川断面を広げる河川改修を順次おこなっており、1日も早い改修完了に向けて、引き続き護岸や 管理用通路の整備を進めていきます。



御所が谷橋下流部 : 港南区日野七丁目



(4) 水防事業 1億4402万円 (7876万円)

風水害や水難事故から市民の安全を自助・共助により守るため、気象情報や河川に関する情報の発信などを行います。

ア 水防災情報システム

河川に設置した31箇所の水位計と24箇所の監視カメラ等の保守管理を行います。 また、周辺自治体との連携による、上流域の水位情報の提供を開始するなど内容 の充実を図ります。

さらに、本市に在住・来訪する外国人向けの防災情報として、現在整備されている 英語版に中国語などを追加し、多言語による情報を提供します。





洪水時(令和元年9月3日大雨)
7/913—875—875 951 19728582

水防災情報システム 監視カメラ画像(瀬谷区:宮沢遊水地)

イ 親水拠点警報装置

19箇所の親水拠点に設置している、老朽化した21基の警報装置を全て更新します。

ウ 水防資器材

洪水等による被害軽減のため、土木事務所で土のうや 防水シート等、水防資器材の備蓄・整備を行います。

工 水防広報

水難事故防止啓発チラシの印刷・配布、 親水拠点等における案内板の改修を行います。



水難事故防止啓発チラシ

(5) 道路がけ防災対策事業 **1**億**2480**万円 (1億5600万円)

道路を利用する市民の安全と交通機能確保のため、緊急輸送路やバス路線など重要な道路に面した箇所などについて、点検結果に基づく予防保全のための対策工事を進めます。

- 南区别所四丁目
- 磯子区岡村三丁目
- 磯子区磯子六丁目
- 港北区篠原北一丁目
- 都筑区池辺町
- 戸塚区平戸二丁目

保土ケ谷区権太坂三丁目の対策







対策前

対策後

コラム⑧ 水難事故防止のための普及啓発活動

洪水時における河川の危険性について理解を深めてもらう ため、市内の小学校1年生を対象に水難事故防止啓発チラシ を配布しています。

また、平成30年7月豪雨により、西日本を中心に甚大な被害が発生したことから、職員が市内小学校に出向き、天気と川の関係、大雨の時の川の様子、川遊びで気を付けることなどについて、低学年の児童にも伝わるよう紙芝居や映像を用いた「水防講座」を令和元年度から開始しました。

令和2年度も引き続き開催します。



水防講座の様子

コラム⑨ 災害への対応と備え

対応:その1(令和元年9月3日の大雨)

9月3日夜、池子隧道(金沢区)付近で土砂崩れが発生し、県道金沢逗子が全面通行止めとなりました。 一般社団法人横浜建設業協会(横建協)と土木事務所とが連携して復旧にあたり、9月5日朝に通行止め を解除しました。







土砂、倒木等の撤去

道路清掃

通行止め解除

対応:その2(令和元年台風15号・19号)

台風15号では、深夜、朝比奈 I C (金沢区) 付近で土砂崩れが発生し、環状4号線が全面通行止めとな りました。また、福浦・幸浦地区(同区)では高潮により道路上へ土砂や周辺事業所の資材が散乱し、通 行できない状況になりました。いずれも、横建協と土木事務所が連携して復旧にあたりました。

台風19号では、事前に、福浦・幸浦地区へ土のう1万袋、 ブルーシート2,400枚を配布し、被害予防に努めました。

<環状4号線>







復旧完了

<福浦·幸浦地区>

高潮により土砂や資材が散乱

備え:その1(道路局震災対策訓練)

大地震発生時における緊急輸送路の点検、被害情報の収集、情報受伝達、道路啓開方針の策定等を迅 速・的確に実施することを目的として、毎年、横建協の皆様と連携した道路局震災対策訓練を実施してい ます。



訓練後の横建協と土木事務所 との意見交換



道路啓開方針作成

備え:その2(防災協定の締結)

災害に備え、次の団体と防災協定を締結し、災害対応力の強化に取り組んでいます。

- (一社) 横浜建設業協会
- (一社)神奈川県測量設計業協会横浜支部
- (一社)横浜市建設コンサルタント協会
- ・(一社)日本建設機械レンタル協会神奈川支部・(一社)神奈川県バス協会
- (一社)神奈川県建設業協会横浜支部
- (一社)横浜市地質調査業協会
- ・ 神奈川県レンタル業協会

2 計画的な保全・更新・維持管理

(1) 施設の老朽化対策 51億8050万円 < 53億7050万円 > (36億8959万円)

「横浜市公共施設管理基本方針」に基づき、各施設の長寿命化を図る保全計画等を策定し、メンテナンスサイクルにより効率的かつ効果的な維持管理・更新等を進めます。

ア 橋梁の老朽化対策 41億73万円 < 42億9073万円 > (28億8011万円)

本市が管理する道路橋の適切な維持管理を行うため、 5年に1度の定期点検を引き続き進めます。

また、点検結果等を踏まえ策定する橋梁長寿命化 修繕計画に基づき、損傷個所の補修や架替えなどを 実施します。

- (ア) 定期点検 350橋
- (イ)計画的な補修等生麦人道橋(鶴見区)、村雨橋(神奈川区)、 烏帽子田橋(西区)、第一柳明橋(泉区)

など161橋

(ウ) 老朽橋の架替え 末吉橋(鶴見区)

> 鶴見川に架かる末吉橋は、川崎市と共同で 架替事業を進めており、仮橋設置工事や護岸 改修工事を行います。



計画的な補修等:三ツ沢橋(神奈川区) (橋梁支承部の補修)



老朽橋架替え:末吉橋(鶴見区) (仮橋の鋼管杭打設)

イ トンネル·地下道の補修 **3**億**709**万円(2億2243万円)

(ア) 定期点検 36箇所

(イ) 計画的な補修 東隧道(保土ケ谷区)、萩台トンネル(磯子区)、

長津田地下道(緑区)など22箇所

コラム⑩ 橋梁の1巡目法定点検の実施結果と今後の対策

点検対象の1,698 橋について、全ての橋の点検が平成30年度までに完了しました。点検の結果、緊急措置が必要な橋(健全度IV)はなく、全体の89%にあたる1,510 橋は概ね健全(健全度 I、II)でした。なお、全体の11%、188 橋は早期に措置が必要な橋(健全度Ⅲ)となっています。

今後、2巡目の点検を進めていくとともに、1 巡目の点検結果を踏まえ、健全度Ⅲの橋梁を中心 に計画的な修繕を進めていきます。

健全度の判定区分 健全度 | 健全 6% 健全度 | 予防保全段階 83% 健全度 | 早期措置段階 11% 健全度 | 緊急措置段階 0%





近接目視点検

左:市道上の橋梁(高所作業車) 右:河川上の橋梁(ロ-プアクセス) ウ 歩道橋の老朽化対策 5億9358万円(4億1605万円)

(ア) 定期点検 60橋

(イ) 計画的な補修 なかよし歩道橋(西区)

など18橋

(ウ) 化粧パネルの撤去 戸塚駅東口歩道橋 (戸塚区)

など3橋



化粧パネルの撤去:ポートサイド歩道橋(神奈川区)

エ 河川施設等の老朽化対策 1億7910万円 (1億7100万円)

(ア) 定期点検・調査 河川点検(38河川)

(イ) 計画的な補修 奈良川、大岡川、平戸永谷川、阿久和川、宇田川、

くぬぎ台川の補修

ポンプ排水型遊水地設備の補修

(ウ) 計画策定 河川保全計画の改定、水路・雨水調整池保全計画の策定

(2) 市営自動車駐車場の管理運営 4億8750万円 (9億1771万円)

【自動車駐車場事業費会計】

都心部における路上駐車対策として設置している地下駐車場を、令和2年4月から 指定管理者が管理、運営します。

- •福富町西公園地下駐車場
- ・ポートサイド地下駐車場
- 馬車道地下駐車場
- 山下町地下駐車場
- 日本大通り地下駐車場
- 伊勢佐木長者町地下駐車場

施設維持費:1億5371万円 公債費等:3億3379万円

コラム⑪ 地下駐車場管理運営への指定管理者制度の導入と見込まれる効果

【建設~現在】

都心部の路上駐車による渋滞や交通 事故防止を目的に建設しましたが、 民間駐車場の増加等もあって売上が 減少しています。

【指定管理者の導入と効果】

民間ノウハウを活用したキャッシュレス決済やWeb 予約サービス等の導入により、サービスの向上と売上の増加を図り、将来の大規模修繕に備えます。



馬車道地下駐車場

(3) 道路修繕 104億6844万円 (101億6450万円)

舗装のわだち掘れ等、損傷が著しくなってきている道路の 計画的な修繕や緊急を要する舗装補修を進めます。

あわせて年度末における道路の損傷や、災害等に対応する 舗装補修(応急修理)工事と働き方改革で求められている 発注・施工時期の平準化に対応する道路修繕工事等について 債務負担行為を設定しています。



舗装修繕工事の状況(泉区)

- (4) 街路樹・植樹帯の管理 17億4710万円 (17億4710万円) 樹木の大径化、老朽化に対応した街路樹の管理を進めます。
 - ア 剪定・刈込等 14億9146万円 (14億2977万円) 街路樹及び植樹帯の植栽について、剪定や刈込等を進めます。
 - · 街路樹 約132,000本
 - 植樹帯 124ha



キノコが寄生しやすい8種の街路樹を中心に、樹木医による 点検を引き続き行います。

- · 街路樹点検 約4,700本
- ウ 街路樹の植え替え等 1億7303万円(2億825万円) 安全な通行に支障がある街路樹について、管理しやすい樹種 への変更や適切な間隔での樹木の配置、植樹桝の改良などを 進めます。
 - ・本牧通り、本牧桜道(中区)
 - ・大岡川プロムナード (南区)
 - ・たまプラーザ、あざみ野(青葉区) ほか14箇所

※上記に加え、環境創造局のみどり保全創造事業費会計予算(街路樹による良好な景観の創出・育成 5億8200万円)を活用し、街路樹剪定の充実や街路樹の植え替えを進めます。



剪定により管理された並木



樹木医による点検実施状況







植え替えの例:大岡川プロムナード(南区)

(5) 道路施設の管理 33億2903万円 (35億5738万円)

車道等の清掃及び道路照明灯やエレベーター等の保守・管理を行うとともに、道路施設の 効率的な維持管理のために道路管理高度化システム(道路土木GIS)の整備を進めます。

ア 道路等の清掃 8億661万円 (8億1196万円)

道路を常に良好な状態に保つため、車道、駅前広場等の施設について、清掃を実施します。

・車道 631km ・駅前広場 29駅



車道の清掃

- イ 道路照明灯の管理 **3**億**500**万円 (3億5218万円) ランプ交換や照明柱の補修などを行うとともに、道路照明灯 のLED化を市内全域で進めます。
 - 62,179灯

ウ 道路標識の改善 2400万円 (5000万円)

東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場周辺 などにおいて、道路標識を訪日外国人をはじめ、すべての 利用者にわかりやすいものとなるよう改善を進めます。

・横浜スタジアム周辺 ほか



英語表記の改善、高速道路ナンバリングの追加

エ 路面下空洞調査 2000万円 (2000万円)

道路陥没など突発的な道路の事故や被害を事前に防止するため、空洞探査車等を用いた路面下の空洞調査を実施します。これまでに緊急輸送路の調査が完了しており、現在、バス通りなどの幹線道路の調査を実施しています。

• 幹線道路100km



空洞探査車による調査

オ その他 21億7342万円 (23億2324万円)

- ・エレベーター (103基)、動く歩道などエスカレーター (59基)の管理
- ・みなとみらい、港北ニュータウン共同溝の維持管理
- 道路台帳の管理、更新、境界標の保全、認定路線の管理
- ・ 道路管理高度化システム (道路土木GIS) の道路施設情報の拡充
- ・工事や維持管理に必要な品質確保のための技術基準の作成 など

(6) 河川水路等施設の管理 【一部再掲】 13億3728万円 (14億7802万円)

- 占用物件・用地の管理 4060万円 (4119万円)
 - システム等を活用し、占用物件・用地の管理を適正かつ効率的に行います。
 - ・水路用地払下げ
 - ・河川、水路の占用許可、河川・水路占用システム保守・管理
 - ・河川、水路の現況調査、河川水路データベースシステム保守・管理 など

イ 現場の維持管理 12億9668万円(14億3683万円)

本市管理の一級・二級・準用河川及び水路、雨水調整池などの維持管理を行います。 特に、近年全国で激甚化・頻発化する豪雨災害を踏まえて創設した河道等安全確保 対策事業により、河川や水路、雨水調整池の治水機能を万全にするため、堆積土砂の 掘削や繁茂した樹木の伐採を進めるほか、除草の頻度や範囲を維持するなど、維持管理 を確実に実施します。

- ・ 堆積土砂の掘削
- 樹木伐採、除草
- 護岸、管理用通路、転落防止柵等の補修
- ・ポンプ設備等の点検、補修、部品交換

コラム⑫ 河道等安全確保対策事業 ~河川・水路等の維持管理の強化~

河川や水路、雨水調整池などの土砂や草木は、日常的な点検等の支障になるだけでなく、大雨時に水の 流れを妨げるなど、氾濫を引き起こす恐れがあります。また、土砂の堆積により水の流れが偏ることで、 護岸崩落につながる洗堀が発生することも懸念されます。

河道等安全確保対策事業では、河川や水路、雨水調整池などの土砂掘削や樹木伐採、除草等を実施し、 雨水を流す機能や貯める機能を確保するとともに、良好な水辺環境を維持していきます。



(7) 財源確保の取組

ア 高架下等有効活用事業

道路高架下・道路予定区域等の未利用地を駐車場などとして有効活用し、 その収入を事業用地等の維持管理財源に充当します。

- ・歳入充当額 6940万円
- •活用筒所数:33筒所(令和元年12月末現在)

イ 広告事業

道路施設・道路空間を広告事業によって有効活用し、その収入をエレベーター等の維持管理財源に充当します。

- ・歳入充当額 2970万円
- ・JR桜木町駅前広場イベントスペースの運営
- ・みなとみらい21地区における広告フラッグ掲出
- ・駅自由通路などの道路施設における広告掲出



元町·中華街駅(山下公園)連絡地下通路:壁面

ウ 道路施設におけるネーミングライツ事業

道路施設に愛称を命名することができる権利を売却し、その収入を道路等の維持管理財源に充当します。

- ・歳入充当額 410万円
- ベイクォーターウォーク
- ・鶴屋町クレインズ歩道橋



鶴屋町クレインズ歩道橋

エ 道路事業用地の利活用

先行取得用地をはじめとする道路事業用地について、 工事着手までの間の利活用を図ることで、その収入を 都市計画道路事業の財源に充当します。

・歳入充当額 3326万円



港北区樽町の先行取得用地:駐車場

コラム(3) 歩道橋ネーミングライツ事業の拡大

平成29年度から試行的に実施した歩道橋ネーミングライツ 事業について、令和元年度から対象歩道橋を市内全域に拡大し、 スポンサーを募集しています。

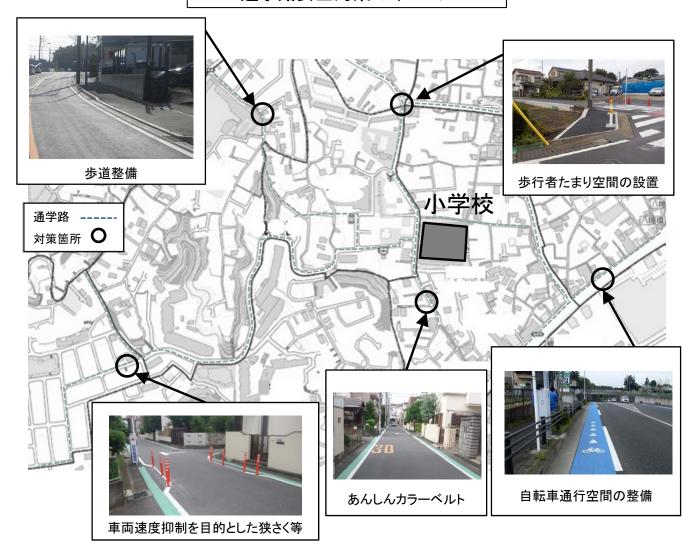
また、スポンサーが愛称名や企業を幅広くPRできるようにするため、主桁への愛称標示の導入によりスポンサーメリットを拡充する等、さらなる維持管理財源の確保に向けて事業の拡大に取り組んでいます。



3 誰もが安全・安心に利用できる道路空間

- (1) 通学路安全対策事業【一部再掲】 21億7323万円 < 28億9810万円 > (26億2529万円) スクールゾーン対策協議会での点検などを踏まえ、引き続き、歩行空間の確保やあんしんカラーベルトの整備など通学路の安全対策を重点的に推進します。
 - ア 歩道設置等 20億5557万円 < 20億7957万円 > (25億2183万円) 地域の方々や小学校と連携し、通学路における歩行空間の確保や自転車通行空間の 整備などの交通安全対策を実施します。
 - ・市道市場第42号線(鶴見区)
 - ・市道川向第39号線(港北区)
 - ・市道原宿第239号線(戸塚区)
 - ・主要地方道環状 4 号線(泉区) など71箇所
 - イ あんしんカラーベルトの整備 **6100**万円 (6600万円) 歩道設置が困難な道路でも歩行者スペースを視覚的に認知でき、安全対策として 効果がある「あんしんカラーベルト」を整備します。 (全18区)

通学路安全対策のイメージ



コラム(4) 未就学児の移動経路等の緊急点検について(令和元年度2月補正

令和元年5月に滋賀県大津市で発生した、交差点で信号待ちをしていた保育園児が自動車同士の接触事故 に巻き込まれ、命を落とすという痛ましい事故を受け、本市では交差点における独自の緊急点検および、未 就学児が日常的に移動する経路等における緊急点検を実施しました。これらの点検に基づく安全対策は令和 元年度から取り組んでいます。

交差点の緊急点検

- 本市独自の取組
- ・事故多発や歩行者密集の視点で抽出した交差点を点検

点検256箇所 💳 要対策186箇所

未就学児の移動経路等の緊急点検

- ・全国的な取組
- 保育施設等から安全対策の要望が挙がった箇所を点検
- ・保育施設、警察、道路管理者等による合同点検を実施

(全体)

点檢464箇所 💳 要対策182箇所 (道路管理者分)

主な対策内容

- ◆ 車止め設置
- ◆ ガードレール設置
- ◆ あんしんカラーベルト 等





車止め

あんしんカラーベルト

ウ 児童交通安全対策 1666万円(1746万円)

小学生を対象に歩行時、自転車乗車時のルールを指導教育する「はまっ子交通あん ぜん教室」を開催します。

また、「スクールゾーン活動のしおり」「はたふり誘導ハンドブック」等を作成する ことにより、スクールゾーン対策協議会の活動を支援します。

エ ビッグデータを活用した交通安全対策 **4000**万円 (2000万円)

通学路をはじめとした生活道路において、ETC2.0ビッグデータを活用し、車両の走 行速度を抑制する「ハンプ」や「狭さく」の設置など交通安全対策の検討を進めます。

コラム(6) ビッグデータを活用した交通安全対策

国土交通省が収集・分析したETC2.Oのビッグデータ(走行履歴や挙動履歴)を活用し、スピード超過や 急ブレーキの多発する箇所を特定したうえで、交通安全対策の取組を進めています。

安全対策	対策内容	写真	イメージ図
ハンプ	車両の走行速度を低 減させるため、道路 上に凸型の構造物を 整備		高さ10cm 高さ10cm 傾斜部 平坦部 傾斜部 2m 2m以上 2m
スムース 横断歩道	車両の速度低減と横 断歩道の視認性を向 上させるため、ハン プと横断歩道を一体 的に整備		「傾斜部 平坦部 → 傾斜部

(2) 踏切の安全対策(歩行者対策)

3億9000万円 (3億9520万円)

「横浜市踏切安全対策実施計画」(平成28年3月)に基づき、踏切拡幅等の安全対策を進めます。

ア 踏切拡幅

- ・能見台第2踏切(金沢区)令和2年度完成予定
- · 古市場踏切(鶴見区)
- ·八丁畷第1踏切(鶴見区)

イ 跨線人道橋の整備

- ・生見尾踏切(鶴見区) 既設跨線人道橋へのエレベーター設置
- ・樹源寺踏切(保土ケ谷区) 測量等の実施



令和元年度に踏切のカラー化が完成した 上星川7号踏切(保土ヶ谷区)

(3) 連続立体交差事業 [再揭] 25億2900万円 (14億7840万円)

(4) 交通安全施設の補修 **1**億**2944**万円 (3億2929万円)

防護柵、案内標識等の補修を行うとともに、エレベーターについては経年や点検結果を 踏まえた更新を実施します。

(5) 私道対策 8000万円 (9470万円)

市民が行う私道の舗装工事等への助成や、市民要望による私道整備を進めます。また、私道を公道に移管するための測量費等の助成を行います。



私道整備助成実施前(保土ケ谷区)



私道整備助成実施後(保土ケ谷区)

(6) 交通安全教育・啓発事業 【一部再掲】 **3807**万円 (3491万円)

幼児交通安全訪問指導や、高齢者を対象としたドライビング スクールの開催等、世代に応じた交通安全教育を行います。

また、高齢運転者による交通事故への対策に取り組みます。 関係機関・団体等と連携し、各季の強化月間等に合わせた キャンペーンの実施や、歩行中の事故防止に効果的な反射材 着用についての啓発等に取り組みます。



幼児交通安全訪問指導

Ⅲ 魅力あるまち・みちづくり

~魅力や利便性を向上し、愛されるまちへ!~

1 まちの利便性向上

(1) 歩行空間の改善・拡充 16億1313万円 (8億6357万円)

ア バリアフリーの推進 1億913万円 (1億517万円)

バリアフリー基本構想について、策定済み駅の見直しと未策定駅の新規作成を 区ごとに進めます。

【継続中】・磯子区(杉田駅・新杉田駅(見直し)、磯子駅、屏風浦駅、根岸駅)

・神奈川区(羽沢横浜国大駅(法に基づく提案制度により作成))

【着手予定】・中区(関内駅(見直し)、桜木町駅、馬車道駅、日本大通り駅など)

・泉区(踊場駅(法に基づく提案制度により作成))

また、基本構想を策定した地区から、歩道の段差改善等バリアフリー歩行空間の整備に向けた計画の策定及び整備を進めます。 ・十日市場駅周辺地区(緑区)など

イ みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路の再整備

現市庁舎街区活用事業や横浜文化体育館の再整備を控える関内・関外地区の回遊性向上に向け、

「みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路」に ついて、歩道の拡幅や自転車通行空間の整備などを 行い、賑わいと魅力ある道路空間へ再整備するため、 沿道の方々との意見交換や社会実験を踏まえ、設計 を進めます。 8500万円(2000万円)



再整備検討区間

ウ さくらみらい橋(大岡川横断人道橋)の整備 **14**億**400**万円(7億2340万円) JR及び地下鉄桜木町駅から、開発が進められている北仲通地区への歩行者交通量 増加に伴う動線の確保と利便性の向上、みなとみらい21や関内等周辺地区との回遊性 向上のため、引き続き歩行者専用橋の工事を進めます。 令和2年6月末供用開始

コラム⑩ さくらみらい橋の名称について

大岡川人道橋については、市民の皆様に親しみを持ってご利用いただけるよう、名称の公募を行い、総計393件の応募をいただきました。応募案の中から、地域の方々などによる名称選定懇談会での意見を踏まえ、橋名に桜木町やみなとみらいの地域名の一部が含まれること、橋が桜(さくら)の名所である大岡川に架かること、さらに、未来(みらい)につながる前向きなイメージであることなどの理由から、名称を「さくらみらい橋」に決定しました。







エ 鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討【一部再掲】 **2000**万円(1500万円) 鶴見区「新鶴見橋~末吉橋」間については、引き続き、新たな人道橋の整備に必要 な調査・設計を進めます。

港北区「新羽橋~新横浜大橋」間については、橋梁新設に向けた検討を進めます。

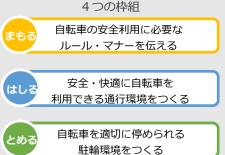
(2) 交通結節点の整備 9500万円 (1000万円)

保土ケ谷駅東口駅前広場の再整備 9500万円 (1000万円) バリアフリー化が課題となっている保土ケ谷駅東口駅前広場において、 エレベーターの設置を含めた駅前広場の再整備工事に着手します。

- (3) 自転車活用施策の推進 [一部再掲] 23億7069万円 < 23億8469万円 > (24億887万円) 平成31年3月に策定した「横浜市自転車活用推進計画」に基づき、自転車利用のルール・マナーの周知、自転車通行空間の整備、駐輪環境の向上及び放置防止対策、自転車の活用に向けた取組などの自転車施策を総合的に進めます。
 - ア 自転車の交通ルール等の周知・啓発 1593万円 (2335万円)
 - ・ルールブック及び乳幼児保護者向け等世代別啓発チラシの配布
 - ・自転車交通安全教室の実施
 - ・「思いやりSHARE THE ROAD運動」の実施
 - ・ 自転車保険加入促進に向けた周知・啓発
 - イ 自転車通行空間の整備 4100万円 < 5500万円 > (6400万円)
 - ・主要地方道横浜伊勢原(戸塚区)など4路線の整備
 - ・都心臨海部自転車ネットワーク構想の策定
 - ウ 市営自転車駐車場の管理運営 16億7636万円(16億2763万円)
 - ・鉄道駅周辺の市営自転車駐車場の管理運営 242箇所
 - エ 市営自転車駐車場の維持・補修 **1**億**1717**万円 (1億7347万円)
 - ・戸塚駅東口第二自転車駐車場(戸塚区)など
 - 才 自転車等放置防止対策 5億1147万円(5億1298万円)
 - ・放置自転車等の移動等 115駅
 - ・各区におけるマナーアップ監視員による啓発等
 - 横浜市内鉄道駅周辺放置実態調査委託
 - カ 自転車施策の推進 877万円 (745万円)
 - ・自転車施策推進に係る調査
 - ・自転車活用推進イベント運営費 など



乳幼児保護者向け 啓発チラシ



横浜市自転車活用推進計画

ります 自転車をヨコハマでの 暮らしやまちづくりにいかす

2 地域交通の確保に向けた取組

人口減少や超高齢社会の到来など社会情勢が変化する中で、市民の日常生活の利便性を確保するため、生活交通として必要なバス路線を維持するとともに、地域の主体的な取組による新たな移動手段の導入やバス路線の充実に向けた支援を進めていきます。

(1) 地域交通サポート事業 4000万円 (4000万円)

バス路線の新設、再編など現在15地区で本格運行中、1地区で実証運行中、7地区で 実証運行に向けた検討の支援を実施しています。

ア 地域の主体的な取組への支援

新たなバス路線の導入や再編、ボランティアバスの取組に対する支援を進めます。



交通事業者によるワゴン型車両の運行 (旭区「四季めぐり号」)



地域の共助によるボランティアバスの運行 (都筑区都田・池辺地区)

イ 今後の地域交通施策の検討

地域の移動に関する多様なニーズを踏まえ、効率的なバス路線の再編や乗合タクシーの導入等による地域交通の維持・充実に向けた検討を交通事業者と連携して進めます。

(2) 生活交通バス路線の維持支援 3億2775万円 (2億6454万円)

市民の日常生活の利便性を確保するため、生活交通として必要な13路線に対し補助金を交付し、バス路線を維持します。

(3) バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業 4326万円 (新規)

既存バス路線の維持や多様化するニーズ、交通渋滞などの課題に対応するため、連節バス導入などの、運行効率化を促すための走行環境整備を進めます。先行地区として、 戸塚区南西部において取組を開始します。

コラム(1) 戸塚区南西部における取組

バス路線の維持・充実に向けた 先行的な取組として、鉄道駅から 離れたドリームハイツ地区と、 戸塚バスセンター間に連節バスの 導入を検討しています。

交通事業者や関係機関、市が協力して取組を進め、ドリームハイツ地区及びその周辺部における交通利便性の向上、戸塚駅周辺の渋滞緩和に取り組みます。



連節バス導入イメージ

3 まちの魅力創出

(1) 健康みちづくり推進事業 6701万円 (7082万円)

「健康みちづくり推進事業実施計画」に基づき、選定したプロムナード等において、舗装、案内サインやベンチの設置など、楽しみながら健康づくりに取り組める歩行空間の整備を進めます。

・緑区、泉区、戸塚区など9区、11ルート



舗装新設 (緑区:素朴なスケールの岩川と沿道の田園風景 を楽しむルート)



共通案内サインの設置 (神奈川区:横浜旧東海道ルート)



案内サインの設置 (戸塚区:横浜旧東海道ルート)

ベンチの設置にあたっては、「横浜サポーターズ寄附金」のメニューのひとつである 「ハマサポベンチ」の募集を継続し、皆様の寄附金を活用していきます。





ハマサポベンチ設置箇所例 左:港を見渡す山手洋館巡り(山手・東側コース)(中区元町・中華街駅前) 右:横浜の遺産から現代へタイムスリップルート(中区関内駅前)

(2) 河川環境の整備 1836万円 (1048万円)

帷子川において、学校橋付近で広場整備、今川橋下流で魚道の遡上効果の検証を 行います。

また、コーディネーター制度を創設し、「アユが遡上する街、ヨコハマ」の他河川への展開を図ります。



整備した魚道 (帷子川:旭区今川町)



市民協働による川づくりの様子 (帷子川:旭区今川町)

(3) 市民協働による美化活動の推進 1915万円 (1923万円)

ア ハマロード・サポーター 948万円 (948万円)

自治会・町内会、企業等の団体による市道の清掃、美化活動を支援します。

- 518団体 • 支援団体
- 清掃用具、ごみ袋の支給等 ・支援内容
- 全体交流会 8月予定、永年活動表彰、国土交通大臣表彰等

令和元年度 国土交通大臣表彰受賞団体









明月会(青葉区)

センター北ハマロード・サポーター(都筑区)

豊岡商店街協同組合(鶴見区) (※団体主催の打ち水イベント)

イ 水辺愛護会活動支援事業 967万円(975万円)

地域や有志の方々により構成された団体による河川や水辺施設の美化活動を支援します。

- 支援団体 94団体
- 支援内容 水辺環境の美化活動に対する補助金の交付等
- 8月予定、永年活動表彰、国土交通大臣表彰等 · 全体交流会

令和元年度 国土交通大臣表彰受賞団体



和泉川中央水辺愛護会(泉区)

令和元年(公社)日本河川協会 河川功労者表彰受賞団体



いたち川(稲荷森の水辺)水辺愛護会(栄区)

コラム個 ボランティア団体の活動について

ハマロード・サポーターは、道路の清掃や美化活動を行う団体を支援する制度として、また、水辺愛護会は、 河川や水路等の水辺施設の清掃や除草を行う団体を支援する制度として実施しており、自治会・町内会、企業 など多くの方々に参加していただいています。地域の特色にあわせた自主的な活動等が評価され、毎年いくつ かの団体が国土交通大臣表彰を受賞しています。

活動の活性化をはかるため、令和元年度はハマロード・サポーター、水辺愛護会合同で交流会を開催しまし

令和元年度 水辺愛護会、ハマロード・サポーター全体交流会の様子







集合写直

会場の様子

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組 5083万円 (1億7775万円)

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催準備に伴い、多くの来街者が見込まれるみな とみらい、横浜スタジアムや横浜国際総合競技場周辺等で、取り組みを進めます。

(1) 道路標識の改善 [再掲] **2400**万円 (5000万円)

道路標識を訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすいものとなるよう改善を進めます。





英語表記の改善

高速道路ナンバリングの追加

(2) 競技場周辺の安全対策費 1440万円 (2500万円)

神奈川県警察と協力し、交通安全対策の強化を目的に、競技場周辺において、 歩道への車両突入事故を抑止する車止めやガードレール等の設置を行います。

車止め設置状況



横浜スタジアム周辺



横浜国際総合競技場周辺

(3) その他【再掲】 1243万円 (1億275万円)

競技場周辺において、まちの美化推進等を目的として、道路等の清掃、自転車の 放置防止についての啓発及び放置された自転車等の移動を重点的に行います。

令和2年度 道路局予算 <令和元年度2月補正(国補正分)予算>を含む

(単位:千円)

				(単位:十片
	令和2年度	令和元年度	増▲減額	増▲減率
收会計 ※	87,439,607	91,244,090	▲ 3,804,483	▲ 4.2
12款 道路費 ※	86,498,306	90,336,751	▲ 3,838,445	▲ 4.2
1項 道路維持管理費	24,608,617	24,407,902	200,715	0.8
1目 道路行政総務費	6,787,186	6,748,628	38,558	0.6
2目 道路用地整理費	51,682	57,945	▲ 6,263	▲ 10.8
3目 道路台帳整備費	314,762	257,199	57,563	22.4
4目 道路等管理費	2,948,865	3,177,016	▲ 228,151	▲ 7.2
5目 道路等維持費	12,255,533	11,960,798	294,735	2.5
6目 交通安全·自転車政策推進事業費	2,250,589	2,206,316	44,273	2.0
2項 道路整備費 ※	56,824,026	62,000,065	▲ 5,176,039	▲ 8.3
1目 交通安全施設等整備費 ※	1,355,963	774,468	581,495	75.1
2目 地域交通対策費	232,830	193,268	39,562	20.5
3目 道路特別整備費 ※	13,053,850	10,071,206	2,982,644	29.6
4目 街路整備費 ※	32,321,038	35,882,535	▲ 3,561,497	▲ 9.9
5目 高速道路等整備費	262,345	3,824,588	▲ 3,562,243	▲ 93.1
6目 道路費負担金	9,598,000	11,254,000	▲ 1,656,000	▲ 14.7
3項 河川費 ※	5,065,663	3,928,784	1,136,879	28.9
1目 河川管理費	1,490,972	1,563,524	▲ 72,552	▲ 4.6
2目 河川整備費 ※	3,574,691	2,365,260	1,209,431	51.1
17款 諸支出金	941,301	907,339	33,962	3.7
1項 特別会計繰出金	941,301	907,339	33,962	3.7
11目 自動車駐車場事業費会計繰出金	362,511	346,246	16,265	4.7
13目 公共事業用地費会計繰出金	429,317	439,691	▲ 10,374	▲ 2.4
18目 自動車事業会計繰出金	149,473	121,402	28,071	23.

※〈令和元年度2月補正(国補正分)予算を含む〉

(単位・千円)

						(単位:十円)
			令和2年度	令和元年度	増▲減額	増▲減率
特別	別会計 日	自動車駐車場事業費会計	487,496	917,712	▲ 430,216	▲ 46.9%
	1款 自動	動車駐車場事業費	487,496	917,712	▲ 430,216	▲ 46.9%
	1項	更運営費	153,705	570,466	▲ 416,761	▲ 73.1%
		1目 自動車駐車場運営費	153,705	570,466	▲ 416,761	▲ 73.1%
	2項	公債費	328,791	346,246	▲ 17,455	▲ 5.0%
		1目 元金	315,652	328,536	▲ 12,884	▲ 3.9%
		2目 利子	13,089	17,664	▲ 4,575	▲ 25.9%
		3目 公債諸費	50	46	4	8.7%
	3項	予備費	5,000	1,000	4,000	400.0%
		1目 予備費	5,000	1,000	4,000	400.0%

【自動車駐車場事業費会計】会計運営計画について

整備や改修等の投資を行う可能性のある特別会計の運営にあたっては見通しを立て、計画的に事業を行っていくことが重要です。そのため、各会計が計画的・効率的かつ、安定的に事業に取組むとともに、本市財政の健全化の推進や透明性の向上にも寄与するように、会計運営計画をR2年度予算に合わせて策定します。

また、この計画は総務省が公営企業に策定を求めている『経営戦略』に位置付けます。

1	(12款1項1目) 道路行政総務費		
本年度		千円 6, 787, 186	
	前年度	6, 748, 628	
	差引	38, 558	
	国・県 支出金	0	
本年	使用料	0	
度の	諸収入等	9	
財源	市債	0	
	一般財源	6, 787, 177	

道路行政全般にかかる諸経費の支出を行います。

- **1 職員人件費** 6,756,690千円 (6,711,287)
 - ·一般職 774人、再任用職員 59人
- **2 技術監理費** 13,836千円 (13,836)
 - ・労務・資材費調査委託費及び技術研修等にかかる経費
- **3 総務管理費等** 16,660千円 (23,505)
 - ・事務費、防災備蓄品の購入、各種講習等受講費用等

2	, ,	(1項2目) 用地整理費
本年度		千円 51, 682
	前年度	57, 945
	差引	▲ 6, 263
	国・県 支出金	0
本年	使用料	0
度の財源	諸収入等	8
	市債	0
	一般財源	51, 674

私道から公道に移管するために必要となる測量費及び公図訂正をするための測量費を助成します。

1 公道移管助成費等

40,000千円 (45,495)

- 公道移管測量費助成金
- 公図混乱地域内測量費助成金
- 2 路線管理システム及び 財産管理システム費

1,332千円 (1,332)

- ・システムの運用・保守等にかかる経費
- 3 認定路線管理費

10,350千円 (11,118)

• 議案参考図作成委託費等

	(12款	(1項3目)
3	道路	台帳整備費
	本年度	千円 314, 762
	前年度	257, 199
	差引	57, 563
	国・県 支出金	0
本年	使用料	123, 012
度の	諸収入等	2, 615
財 源	市債	0
	一般財源	189, 135

道水路等境界調査及び、道路法に定められている道路台帳の整 備等を行います。

- 1 道水路等境界調査費 105, 487千円 (75, 487)
 - 道路及び水路等と民有地との境界を確定する経費
- 2 道路台帳整備費 209, 275千円 (181, 712)
 - ・道路台帳整備のための測量・調査費等

4	(12款 1 項 4 目) 道路等管理費	
本年度		千円 2,948,865
	前年度	3, 177, 016
	差引	▲ 228, 151
	国・県 支出金	6, 900
本年	使用料	1, 782, 413
度の財源	諸収入等	375, 024
	市債	0
	一般財源	784, 528

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路の適切な管理 を行います。

- 1 道路管理事業費 161,413千円 (190,904)
 - 道路占用・掘削許可、貸付地管理、道路原因事故の賠償等
- **2 道路管理システム運用事業費** 102,725千円(102,367)
 - ・道路管理システムの運用
- 9,479千円 (9,479) 3 ハマロード・サポーター事業費
 - ハマロード・サポーターの活動支援
- 4 道路清掃費 806,605千円 (811,963)
 - ・道路、駅前広場等の清掃
- 5 道路照明費 1,077,035千円(1,315,115)
 - 道路照明灯の維持管理
- 6 エレベーター等管理費 459,927千円 (432,886)
- 307,959千円 (293,010) 7 共同溝管理費
 - ・みなとみらい21及び港北ニュータウン共同溝の維持管理
- 8 自由通路管理費 22,755千円 (20,325)
 - 大船駅北口等の自由通路の維持管理
- 9 高架下等有効活用事業費
 - · 検討会運営費等

967千円 (967)

5	(12款 1 項 5 目) 道路等維持費	
	本年度	千円 12, 255, 533
	前年度	11, 960, 798
	差引	294, 735
	国・県 支出金	10, 000
本年	使用料	4, 992, 471
度の財源	諸収入等	34, 769
	市債	1,000,000
	一般財源	6, 218, 293

道路の安全を維持するために道路の修繕を行うほか、街路樹の維持管理を行います。

- 1 道路修繕費 10,468,437千円 (10,164,502)
 - ・道路の計画的な修繕や緊急を要する舗装修繕等
 - ・舗装の補修時期に合わせた低騒音舗装の実施

2 私道対策事業費

40,000千円 (49,200)

私道整備助成、私道整備

3 街路樹管理事業費

1,747,096千円 (1,747,096)

- ・ 街路樹及び植樹帯の維持管理
- 街路樹点検
- ・街路樹保全のための改良工事

6	交	(1項6目) 通安全・ b策推進事業費
	本年度	千円 2, 250, 589
	前年度	2, 206, 316
	差引	44, 273
	国・県 支出金	0
本年	使用料	2, 185, 665
度の	諸収入等	5, 948
財源	市債	0
	一般財源	58, 976

平成31年3月に策定した「横浜市自転車活用推進計画」に基づき、自転車利用のルール・マナーの周知、駐輪環境の向上及び放置防止対策、自転車の活用に向けた取組などの自転車施策を総合的に進めます。また、各季の交通安全運動等や交通安全教育を行います。

- <u>1 放置自転車等移動・保管事業費</u> 405,983千円 (387,236)
 - ・駅周辺の放置禁止区域に放置された自転車の移動等
 - 横浜市内鉄道駅周辺放置実熊調査
- **2** 有料自転車駐車場運営事業費 1,676,356千円 (1,627,627)
 - ・市内242箇所、約10万台の有料自転車駐車場の運営
- **3 自転車活用推進計画事業費** 120, 176千円(136, 539)
 - ・自転車活用推進計画に掲げた施策の推進
 - 各区における自転車マナーアップ監視員による啓発
 - ・自転車利用のルール・マナーの周知、啓発及び教育

4 民営施設整備助成費

10,000千円 (20,000)

・民営自転車駐車場整備に対する補助

5 交通安全推進事業費

38,074千円 (34,914)

・交通安全の周知、啓発及び教育

_	(12款	(2項1目)
7	交通安全	上施設等整備費
		千円
	本年度	655, 100
		<1, 355, 963>
	前年度	774, 468
	差引	▲ 119, 368
		<581, 495>
	国・県	
	支出金	0
	<u> ДЕ</u>	<350, 429>
本	使用料	
年	DC/1311	148, 011
度	諸収入等	101 051
\mathcal{O}	HH 000 1 13	191, 974
財	+ /=	014 000
源	市債	214, 000
		<564 , 000>
	6月,日上,20元	101 115
	一般財源	101, 115
		<101, 549>

や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。

1 交通安全施設等整備費

491,930千円 〈1,192,793千円〉 (555,000)

・歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯等の施設の整備

歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通安全施設

・未就学児の移動経路や交差点等の緊急交通安全対策

2 自転車駐車場等整備費

117, 170千円 (173, 468)

- ・市営自転車駐車場の整備等
- 3 あんしんカラーベルト事業費

46,000千円 (46,000)

・通学路等における路側帯のカラー化

<	>は令和元	年度2月補正
	(国補正分)	予算を含む

(12款 2 項 2 目) 地域交通対策費	
本年度	千円
前年度	232, 830 193, 268
差引	39, 562
国・県 支出金	0
使用料	0
諸収入等	0
市債	0
一般財源	232, 830
	地域 本年度 前差 国支便 財保金 諸収市債

誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、生活 交通として必要なバス路線の維持や、地域の移動手段の確保に向 けた取り組みの支援を推進します。

1 地域交通サポート事業等

54,550千円 (50,130)

- ・地域まちづくり支援制度による活動への助成
- ・実証運行時における運行経費の赤字相当分の補填
- ・本格運行時のワゴン型バスの車両代相当の支援 等

2 横浜市生活交通バス路線維持

178, 280千円(143, 138)

<u>支援事</u>業

・生活交通バス路線の運行に関する補助金等

	(12款	(2項3目)
9	道路	特別整備費
本年度		千円 12, 729, 850 <13, 053, 850>
	前年度	10, 071, 206
	差引	2, 658, 644 <2, 982, 644>
	国・県 支出金	5, 381, 563 <5, 550, 313>
本	使用料	0
年度の	諸収入等	458, 340 <473, 340>
財源	市債	5, 009, 000 <5, 145, 000>
	一般財源	1, 880, 947 <1, 885, 197>

〈 〉は令和元年度2月補正 (国補正分)予算を含む 幹線道路や歩道、電線共同溝の整備、踏切安全対策やバリアフリーの推進、橋梁の地震対策及び点検や老朽化対策などを実施します。

1 幹線道路の整備

- (1)都市計画道路等の整備 3,682,304千円 (1,682,730)
 - ・上郷公田線(公田地区:栄区) など
- (2) 国道の整備 89,000千円 (105,400)
 - ・国道1号(不動坂交差点:戸塚区)など

2 地域の道路整備と交通施策

- (1) 道路改良の推進
 - 1,483,498千円 (1,488,498千円) (2,061,831)
 - ・市道宮沢306号線(その2地区)(泉区)など
- (2) 踏切安全対策の推進 390,000千円 (395,200)
 - ・生見尾踏切(鶴見区)など
- (3) あんしんカラーベルトの整備 15,000千円 (20,000)
 - ・市道青葉台125号線(青葉区)など
- (4) バリアフリーの推進 109,125千円 (105,167)
 - ・市が尾駅周辺地区(青葉区)など
 - ・基本構想作成業務委託費など
- (5) 住み続けたいまち・みちづくり推進事業

10,000千円(10,000)67,014千円(70,820)

- 10,
- (6) 健康みちづくりの推進 ・ルート整備(緑区、泉区)など
- (7) 無電柱化の推進 974,000千円〈1,089,000千円〉(974,000) ・環状2号線(鶴見区) など
- (8) 自転車交通施策 41,000千円〈55,000千円〉(54,000)
- ・自転車利用環境の向上に向けた検討業務 など(9)交通結節点の整備 100,000千円(121,000)
 - ・保土ケ谷駅東口駅前広場(保土ケ谷区)など
- (10) 米軍施設返還跡地関連道路の検討 20,000千円 (20,000)
- (11) 鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討 15,000千円 (15,000)

3 道路等の維持・管理

- (1) 道路がけ防災対策の推進 124,800千円 (156,000)
 - ・道路がけの防災工事
- (2) 交通安全施設の補修 129,444千円 (329,294)
 - ・防護柵、案内標識等の施設の補修
- (3) 歩道橋の維持・管理 740,580千円 (527,219)
 - ・歩道橋長期保全計画に基づく長寿命化の推進
 - ・地震時の歩道橋の損傷防止のための耐震対策の推進
- (4) 施設管理 20,000千円 (21,000)
 - 路面下空洞調查

4 橋梁・トンネル等の維持・管理

- (1) 橋梁の地震対策
- 268,000千円 (300,000)
- ・新横浜陸橋(港北区) など
- (2) 橋梁の老朽化対策
 - 4,100,731千円 〈4,290,731千円〉 (2,880,114)
 - ・生麦人道橋(鶴見区) など
- (3) トンネル・地下道の補修 307,091千円 (222,431)
 - ・萩台トンネル(磯子区) など

5 地域交通の確保

43,263千円【新規】

・バス路線の維持・充実に向けた連節バス等の走行環境整備事業

	(12款2項4目)							
10	街路整備費							
	本年度	千円 30, 859, 538 〈32, 321, 038〉						
	前年度	35, 882, 535						
	差引	▲ 5, 022, 997 < ▲ 3, 561, 497>						
	国・県支出金	10, 821, 125 <11, 618, 950>						
本年	使用料	1						
中度の	諸収入等	493, 370						
財源	市債	10, 119, 000 <10, 781, 000>						
	一般財源	9, 426, 042 <9, 427, 717>						

〈 >は令和元年度2月補正 (国補正分) 予算を含む

都市計画道路の整備等を実施します。

1 高速道路の整備

13,843,000千円 (18,134,666) <14, 103, 000>

- (1) 横浜北西線(立替施行に伴う後年度支払い)
- (2) 横浜北線 関連街路
- (3) 横浜環状南線 関連街路

2 幹線道路の整備

14,388,538千円 (16,884,469)

<15, 590, 038>

(1) 都市計画道路の整備

3,966,538千円 (5,706,069) <5,168,038>

- · 汐見台平戸線【大岡地区】(南区)
- ・鴨居上飯田線【本宿二俣川地区】 (旭区)
- ・金沢シーサイドライン (金沢区)
- ・泥亀釜利谷線【寺前地区】(金沢区)・宮内新横浜線【新吉田地区・新吉田高田地区】(港北区)
- 東京丸子横浜線【綱島地区】(港北区)
- · 桂町戸塚遠藤線【上倉田戸塚地区】(戸塚区)
- ・中田さちが丘線【岡津地区】(泉区) など
- (2) 連続立体交差事業

2,422,000千円 (1,178,400)

·相模鉄道本線(星川駅~天王町駅)連続立体交差事業 (保土ケ谷区)

1,922,000千円 (1,070,400)

- ・相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業(旭区) 500,000千円 (108,000)
- (3) 一般財団法人横浜市道路建設事業団への補助 3,000,000千円 (5,000,000)
- (4) 一般財団法人横浜市道路建設事業団が保有する 道路資産の購入 5,000,000千円 (5,000,000)

3 さくらみらい橋(大岡川横断人道橋)の整備

1,404,000千円 (723,400)

4 みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路再整備

85,000千円 (20,000)

5 橋梁等の保全

120,000千円(120,000)

6 旧上瀬谷通信施設地区関連事業化検討

1,019,000千円 【新規】

11	(12款 2 項 5 目) 高速道路等整備費							
	本年度	千円 262, 345						
	前年度	3, 824, 588						
	差引	▲ 3, 562, 243						
	国・県 支出金	0						
本年	使用料	0						
度の財源	諸収入等	77, 100						
	市債	190, 000						
	一般財源	▲ 4,755						

市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化に向け、高速道路ネットワーク整備を積極的に進めるとともに、高速道路に関する道路の整備等を進めます。

横浜環状道路の北西線(街路復旧)・北線(馬場出入口)・南線(横浜横須賀道路〜国道1号)及び横浜湘南道路については、 関連街路を含め、引き続き整備を進めます。

1 横浜環状道路関連街路調査費

5,160千円 (6,160)

<u>2 首都高速道路整備(横浜環状北線・北西線)に対する出資金</u> 180,500千円 (3,759,000)

3 高速道路調査事務費等

76,685千円 (59,428)

12	(12款2項6目) 道路費負担金						
	本年度	千円 9, 598, 000					
	前年度	11, 254, 000					
	差引	▲ 1,656,000					
	国・県 支出金	192, 000					
本年	使用料	0					
度の	諸収入等	0					
財源	市債	9, 406, 000					
	一般財源	0					

国直轄事業(国道)に対して、道路法にもとづき負担金を 支出します。

1 国道468号横浜環状南線及び横浜湘南道路

8,531,502千円 (10,269,833)

・首都圏中央連絡自動車道等の改築 (幹線道路ネットワーク整備)

2 国道16号電線共同溝の整備 など

1,066,498千円 (984,167)

13	(12款3項1目) 河川管理費						
	本年度	千円 1, 490, 972					
前年度		1, 563, 524					
	差引	▲ 72, 552					
	国・県 支出金	142, 000					
本年	使用料	154, 787					
度の	諸収入等	175, 755					
財源	市債	157, 000					
	一般財源	861, 430					

河川、水路等の点検や補修を適切に行うとともに、効率的な維 持管理のため、計画的な保全を推進します。また、治水機能を万 全にするため、河道内の掘削や樹木伐採等の維持管理を強化しま す。さらに、水防災情報システムによる確実な水位情報等の提供 により、水防管理者との連携を強化します。

1 水政事業費

50,272千円 (47,935)

- ・河川・水路の占用許可システムの保守管理
- ・水辺環境の美化活動に対する補助
- ・水辺愛護会全体交流会の開催 など

2 水防事業費

144,018千円 (78,761)

- ・水位計の設置・更新、水防災情報システム等の保守管理
- ・親水拠点に設置されている警報装置の保守管理
- ・水防資器材の備蓄・整備 など

3 河川・水路等維持管理事業費 867,682千円 (841,828)

- ・ 堆積土砂の掘削
- · 樹木伐採、除草
- 護岸、管理用通路、転落防止柵等の補修
- ・ポンプ設備等の点検、補修、部品交換

4 河道等安全確保対策事業費

429,000千円(595,000)

・近年、全国各地で発生している大規模水害を踏まえて実施 する河道内の掘削等

	(12款3項2目)							
14	河川整備費							
	本年度	千円 2, 356, 691 <3, 574, 691>						
	前年度	2, 365, 260						
差引		▲ 8, 569 <1, 209, 431>						
	国・県支出金	1, 046, 476 <1, 835, 476>						
本年	使用料	0						
中度の	諸収入等	17						
り財源	市債	661, 000 <1, 090, 000>						
	一般財源	649, 198 <649, 198>						

〈 〉は令和元年度2月補正 (国補正分) 予算を含む

台風や集中豪雨等から市民の生命・財産や都市機能を守り、市 民の安全・安心を確保するため、河川改修、流域貯留施設の整備 とともに、河川が本来有している環境の保全と創造を目指し、市 民協働による川づくりを進めます。また、河川管理施設の長寿命 化対策として計画的な補修等を実施します。

- 1 河川改修 2,209,476千円〈3,427,476千円〉(2,208,576)
 - (1)都市基盤河川改修事業費
 - · 今井川 護岸改修、支障移設、用地補償
 - ・帷子川 学校橋架替え、護岸改修、用地補償
 - ・阿久和川 橋際橋架替え、用地補償
 - •和泉川 護岸改修、管理用通路整備 など
 - (2) 準用河川改修事業費
 - 日野川 護岸改修、管理用通路整備、支障移設
 - ・舞岡川 護岸改修 など

2 流域貯留浸透事業費

27,752千円 (17,200)

・本郷台第一雨水調整池 既設雨水調整池改良 など

3 河川環境整備事業費

12,000千円(1,000)

・帷子川 広場整備、アユの遡上効果の検証

4 河川改良・老朽化対策事業費 101, 100千円(126, 000)

- ・ポンプ排水型遊水地の長寿命化
- ・河川保全計画に基づく護岸の長寿命化

5 良好な水環境の保全・創出事業費

6,363千円 (12,484)

コーディネーター制度の推進

15	(17款) 特別会計繰出金						
	本年度	千円 941, 301					
	前年度	907, 339					
	差引	33, 962					
	国・県 支出金	0					
本年	使用料	0					
度の	諸収入等	0					
財源	市債	0					
	一般財源	941, 301					

自動車駐車場事業費会計、公共事業用地費会計及び生活交通バス路線維持支援事業に繰り出します。

- **1 自動車駐車場事業費会計繰出金** 362,511千円 (346,246)
 - ・自動車駐車場事業費会計への繰出金
- **2** 公共事業用地費会計繰出金 429,317千円 (439,691)
 - ・都市開発資金の償還のための公共事業用地費会計への繰出金
- 3 横浜市生活交通バス路線維持支援事業

149,473千円 (121,402)

・自動車事業会計への繰出金

	7.3	5 B 1 A 3 I \					
	(特別会計)						
16	自動車駐車場事業費会						
	本年度	千円 487, 496					
	前年度	917, 712					
	差引	▲ 430, 216					
	国・県 支出金	0					
本年	指定管理 者収入	74, 562					
度の	諸収入等	50, 423					
財源	市債	0					
	一般会計 繰入金	362, 511					

安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、 6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。

1 自動車駐車場運営費 ・福富町西公園地下駐車場 ・ポートサイド地下駐車場 ・馬車道地下駐車場 ・山下町地下駐車場 ・日本大通り地下駐車場 ・伊勢佐木長者町地下駐車場	153,705千円(570,466) 四輪 二輪 184 台 200 台 200 台 25 台 193 台 26 台 200 台 200 台
2 公債費	328,791千円 (346,246)
3 予備費	5,000千円(1,000)

債務負担行為

※「令和2年度 予算に関する説明書」から抜粋

				<u> </u>		1 371-12		<u>コ</u> ー」// いっ	J/C-1
事項	阳麻姑	令和元年度末までの 支出見込額		令和2年度以降の 支出予定額		左の財源内訳 特定財源			
争坝	限度額	期間	金額	期間	金額	国県支出金	市債	その他	一般財源
	千円	刑旧	<u> </u>		<u>並</u> 領 千円	千円	千円	千円	千円
高速横浜環状北西線シールドトンネルエ事に関する協定の	46, 000, 000	平成27年度から	5, 158, 408	令和2年度	7, 655, 400		3, 444, 000		930
締結に係る予算外義務負担	40, 000, 000	令和元年度まで	3, 130, 400	令和3年度から 令和6年度まで	30, 552, 000	16, 803, 600	13, 748, 000	-	400
高速横浜環状北西線設備工事 に関する協定の締結に係る	26, 000, 000	平成30年度 令和元年度まで	3, 146, 660	令和2年度	3, 886, 600	2, 137, 630	1, 748, 000	-	970
予算外義務負担		7 相儿牛皮よく		令和3年度から 令和6年度まで	14, 146, 000	7, 780, 300	6, 365, 000	_	700
高速横浜環状北西線立坑内部 構築工事に関する協定の	2, 000, 000	令和元年度	9, 292	令和2年度 令和3年度から	238, 000	130, 900	107, 000	_	100
締結に係る予算外義務負担 				令和6年度まで	1, 702, 000	-			900
末吉橋架替工事請負契約の 締結に係る予算外義務負担	5, 000, 000	令和元年度	381, 000	令和2年度 令和3年度から 会和10年度まで	474, 000	·			650
				月和10千及より	4, 144, 882		840, 000		2, 599
主要地方道原宿六ツ浦の工事請負契約の締結に係る	7, 700, 000		_	令和2年度 令和3年度から	1, 170, 000				900
予算外義務負担 				令和5年度まで	6, 073, 600				120
長津田駅南口線街路整備事業 に伴う物件移転補償契約の締結	270, 000		_	令和2年度 令和3年度から	169, 868		76, 000		441
に係る予算外義務負担 (新規)				令和4年度まで	99, 140	54, 527	44, 000	_	613
道水路等境界調査業務委託 契約の締結に係る予算外義務 負担	64, 000		I	令和3年度	64, 000	I	1	4, 000	60, 000
(新規)									
道路用地管理工事請負契約の 締結に係る予算外義務負担	16, 000		_	令和3年度	16, 000	-	-	-	16,000
(新規)									
道路修繕工事請負契約の 締結に係る予算外義務負担	1, 700, 000		-	令和3年度	1, 700, 000	-	_	-	1, 700, 000
(新規) 交通安全施設等整備・補修 工事請負契約の締結に係る 予算外義務負担	310, 000		_	令和3年度	310, 000	_	32, 000	111,000	167,000
(新規) 都市計画道路用地管理工事 請負契約の締結に係る 予算外義務負担	62, 000		-	令和3年度	62, 000	-	_	_	62,000
(新規) 河川・水路等修繕工事請負契約 の締結に係る予算外義務負担	96, 000		-	令和3年度	96, 000	I	I	14, 000	82,000
(新規)									
河川整備工事請負契約の 締結に係る予算外義務負担	240, 000		-	令和3年度	240, 000	160, 000	80, 000	-	-
(新規) 阿久和川護岸整備及び橋際橋 改築工事請負契約の締結に係る 予算外義務負担	150, 000		-	令和3年度	150, 000	80,000	70, 000	-	

損失補償

1 一般財団法人横浜市道路建設事業団のためにする損失補償

(1) 損失補償の概要

民間金融機関から借入を行った都市計画道路の整備に要した費用(債務)の返済状況にあわせ損失補償額を変更します。

ア 損失補償額 変更前:**371億4700**万円

変更後:326億8250万円

イ 損失補償期間 変更前:平成31年4月から令和10年3月まで

変更後:令和2年4月から令和10年3月まで

(2) 団体の概要

ア 事業目的

横浜国際港都建設計画に基づいて行われる都市計画道路の整備事業の早期完成に資するため、横浜市と協調して都市 計画道路の整備を行うとともに、その他の道路建設事業を推進することにより市民生活の向上、及び横浜市の産業・経 済の発展に寄与することを目的としています。

· 設 立 昭和62年11月25日

・基本金 1億円(うち横浜市:5000万円(50%))

イ 団体の経営状況

横浜市からの補助金を受け、都市計画道路の整備に要した費用に係る債務の整理を行うとともに、公益法人制度により位置付けられた公益目的支出計画に基づき、市への道路資産等の引継ぎを計画的に行っています。

(3) 損失補償を行う特別な理由・必要性

公共事業として行われた都市計画道路の整備に要した費用の借入に対する既存の損失補償であり、団体が保有する資産は担保能力がない道路資産であるため、独自で資金調達を行うことは困難な状況でした。

(4) 対象債務の返済の見通しとその確実性

着実な返済を進めるために借入条件の見直しや、返済に充当する本市補助金を増額するなどした結果、令和9年度末までに対象債務を返済する見通しとなりました。

2 株式会社横浜シーサイドラインのためにする損失補償

(1) 損失補償の概要

平成22年度から26年度にかけて行った車両(16編成・80両)等の設備更新に要した費用(債務)の返済状況 にあわせ 損失補償額を変更します。

ア 損失補償額 変更前:16億4000万円

変更後:8億円

イ 損失補償期間 変更前:平成31年4月から令和3年3月まで

変更後:令和2年4月から令和3年3月まで

(2)団体の概要

ア 事業目的

横浜市における総合交通体系の一翼を担い、市民の交通の利便を確保することを目的としています。

- · 設 立 昭和58年4月22日
- ・基本金 101億円 (うち横浜市64億円 (63.4%))
- イ 団体の経営状況

平成30年度決算では3億5千万円の純利益を計上するなど、経営は順調です。

(3) 損失補償を行う特別な理由・必要性

安全かつ安定した運行を確保するためには、車両等の設備更新が必要であり、更新費用について民間金融機関から融資を受ける際、本市からの損失補償を求められました。

(4) 対象債務の返済の見通しとその確実性

令和元年度末の債務残高は8億円(見込み)であり、令和2年度に完済する予定です。

